

Nutanixプライベートクラウド向け コストガバナンス

プライベートクラウド内で財務的アカウントビリティを推進

NUTANIXプライベートクラウド向けコストガバナンス性能

今日の組織は、プライベートおよびパブリッククラウドを跨ぐマルチクラウドアーキテクチャをますます採用し始めています。これによって、ITチームがビジネスニーズを迅速に満たすために必要となる、俊敏性と柔軟な選択肢が手に入ります。しかし、ワークロードがパブリックおよびプライベートクラウドに跨った結果、全てのクラウドにおける可視性を一元化して、総合的なIT支出を予算内に抑えるコストガバナンスポリシーを実装可能なコストガバナンスソリューションの必要性が非常に高まっています。プライベートクラウドにおける主要なコストガバナンスの課題は、消費に基づいてすべてのクラウドリソースのコストの非常に詳細な内訳を提供するパブリッククラウドとは対照的に、詳細なリソースコストを即座に把握できないことです。また、プライベートクラウドの所有・実行コストを評価する場合、単純なハードウェアおよびソフトウェアインフラストラクチャーライセンス以外にも、様々なコスト要因を検討しなくてはなりません。最後に、IT運用チームが財務的アカウントビリティを推進するには、パブリックおよびプライベートクラウドの統一されたコストレポートによって、ビジネスユニットに支出をチャージバック（コスト配賦）する能力が必要となります。本ソリューション概要では、Nutanixプライベートクラウドがプライベートクラウドのリソースコストに対する可視性などのコストガバナンス性能を提供することで、自動化されたチャージバックルールを作成して適切なビジネスユニットに支出を割り当てるほか、パブリックおよびプライベートクラウドを跨いだワークロードコストの正確な比較による、コスト意識あるワークロードマイグレーションの実現方法を解説します。

プライベートクラウドのコスト計測

様々なプライベートクラウドリソース（VM、スナップショット、ストレージボリュームなど）の本当のコストに対する可視性を得るには、プライベートクラウドの基盤となっているデータセンターの所有・実行に伴う全てのコスト要因を考慮する必要があります。Nutanixプライベートクラウドのコストガバナンス性能は、ご利用のNutanixプライベートクラウドの所有・保守に伴う全ての直接および間接的コストを算出する、ビルトイン型の総所有コスト（TCO）モデルを活用します。このTCOモデルは、構成可能な業界基準値を様々なコスト要因に利用することで、プライベートクラウドのリソースコストに対する追加設定なしの可視性を提供することで、お客様のニーズに合わせた基準を構成できます。

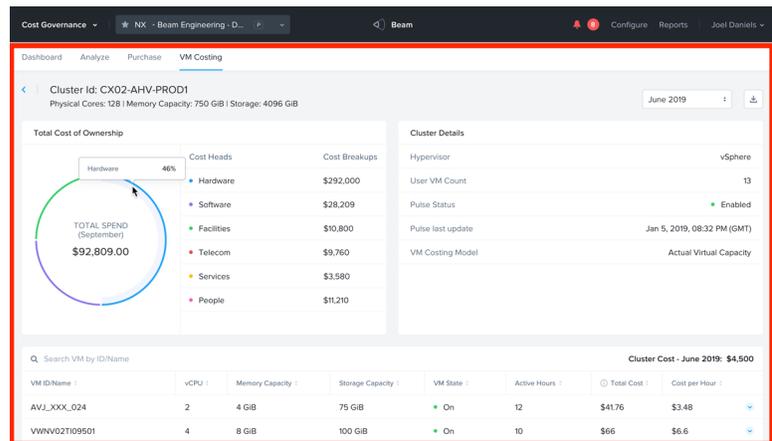


可視性

TCO分析には、以下の6つの異なるコスト要因があります。

- ハードウェア: Nutanixまたは第三者ハードウェアのライセンスコスト
- ソフトウェア: Nutanixまたは第三者ソフトウェアのライセンスコスト
- 施設: 電力、冷却、およびデータセンターインフラストラクチャーコスト
- 電気通信: イーサネット / トップオブラックのスイッチングコスト
- サービス: 1回限りまたは繰り返し発生する第三者サービスコスト
- 人材: IT管理スタッフの給与

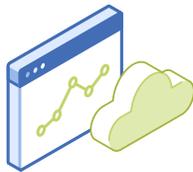
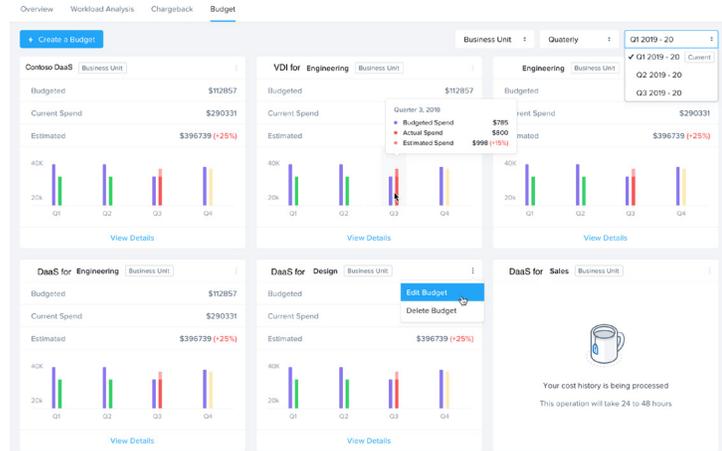
TCOモデルは、個別のクラスタレベルでカスタマイズ可能です。TCOモデルが依存する主要な入力パラメータは、クラスタ内のノードの数です。総合的なクラスタレベルの総所有コストは、クラスタレベルリソースの合計量に比例して、リソースに割り当てられたキャパシティ量 (CPU、メモリ、ストレージなど) に基づき、そのクラスタ内の個別のリソース (VMなど) に割り当てられます。TCOモデルの正確な構成によって、ご利用のNutanixプライベートクラウド上で動作するVMおよびワークロードの真のコストに関する可視性をすぐに得ることができます。同じことは、スナップショットやストレージボリュームなど、その他のリソースにおいても実行できます。



最適化

マルチクラウドのチャージバックと予算編成

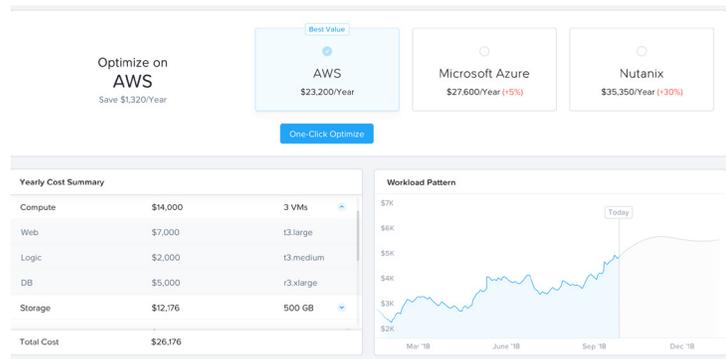
アプリケーションとワークロードがプライベートおよびパブリッククラウドの境界線をより一層跨ぐようになった現在、企業がマルチクラウドのショーバック (コスト通知) およびチャージバック (コスト配賦) レポートによって、クラウド全体にわたる支出を追跡・割当できるようにすることが極めて重要です。財務的アカウントビリティを推進するには、パブリックおよびプライベートクラウドの双方に関するリソースコストをリアルタイムで自動的に特定・更新できる報告制度の配備が不可欠です。Nutanixプライベートクラウドが提供するタグベースの報告制度を利用することで、高粒度なコストレポートを作成し、適切なビジネスユニットまたはコストセンターに支出を割り当てることができます。ただし、全てのリソースにタグ付けが可能なわけでも、タグ付けが行われるわけでもありません。支払いサイクルの度に長々しいコストレポートを手動で調べ、タグ無し支出を特定してコストセンターに割り当てる作業を回避するため、Nutanixプライベートクラウドではタグ無し支出に対する自動チャージバックルールを設定できます。チャージバックルールを一度セットアップするだけで、将来的なタグ無しリソースコストは特定のコストセンターに自動的に割り当てられるため、毎月何十時間もの手動作業を節約できます。また、予算を設定し、設定した予算に対する支出を追跡することで、支出の収拾がつかなくなる事態を未然に防ぐための通知を受け取ります。



コントロール

コスト意識のあるワークロードマイグレーション

Nutanixは、パブリッククラウドとNutanixプライベートクラウドに跨るワークロードのコストを容易に比較できます。こうした比較にTCOベースのコスト計算モデルを用いることで、比較の正確性が保証され、あらゆるクラウド上で動作するワークロードの一因となるコスト要因を考慮できます。タグを用いて、ご利用のワークロードを構成するリソースを定義した後は、Nutanixにお任せ下さい。クラウドにおけるワークロードの合計コストの特定、その他のクラウドにおける類似規模のワークロードのコスト比較、そしてプライベートクラウドからパブリッククラウドへの移行がコスト節約につながるタイミングの推奨など。これらは、動的なコスト比較になります。そのため、特定のクラウドで実行するには費用対効果あまり望ましくないワークロードを移行した場合、その値段の高さに驚くといった事態を確実に回避できます。(注 - この機能は、2020年暦年末までに一般提供される予定)



プライベートクラウドに関するこのようなコストガバナンス性能に加えて、Nutanixのソリューションは以下の方法でパブリッククラウドコストを管理できます。

リソースのライトサイジングを自動化

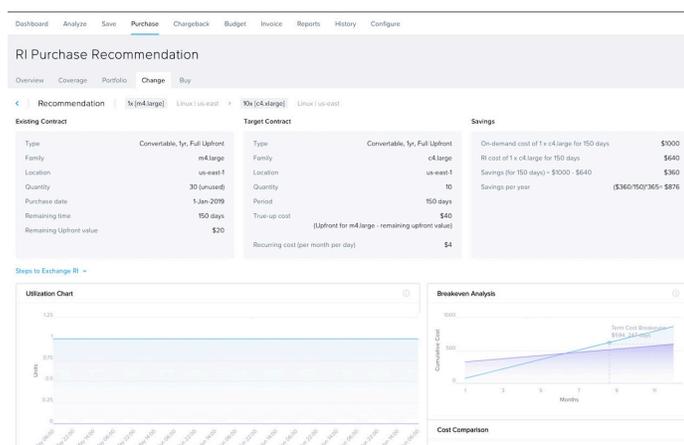
機械学習アルゴリズムを活用して異常な支出パターンを自動検出し、未使用または余剰リソースを特定します。自動化ポリシーを作成して未使用リソースの排除とインフラストラクチャーの正しいサイジングを行い、消費を最適化して、クラウド支出をクラウド支出合計の5~10%を削減します。

スケジューリングアクションの自動化

クラウドリソースの中でも、特に開発/テスト目的で利用するものは24時間週7日稼働する必要がありません。クラウドコスト増大の主な理由として、必要がない場合でも稼働し続けるリソースの存在が挙げられます。Nutanixでは、一定のリソース (VMやデータベースなど) をシャットダウンした後に、手動作業を伴わずにあらかじめ決められた時間に再稼働できる自動化ポリシーを構成することができます。この結果、クラウド支出がさらに5~10%減少します。

リザーブインスタンスのインテリジェントな購入

リザーブインスタンスの購入計画を最大限に活かして、業務の拡大に合わせた拡張モデルによる消費で大幅に節約します。消費履歴に基づき購入に最適なリザーブインスタンスを特定し、総合的なクラウド支出を15~20%削減しましょう。



プライベートクラウドの完全なコストガバナンス

Nutanixプライベートクラウドソリューションにコストガバナンス性能が加わることで、両者の優れた点が一つにまとまります。Nutanix HCIプラットフォームで構築したプライベートクラウドには単一障害点とボトルネックがなく、フォールトトレランスを備えています。このシステムは、クラスタ内のノードにデータ、メタデータ、またサービスが分散されたシェアードナッシング方式によるアーキテクチャーを利用しています。自己修復機能により、クラスタは障害の検出・隔離ならびに障害からの復旧、システムハードウェア、ソフトウェア、およびハイパーバイザーの問題への対応、そしてデータ可用性の保守を実現します。いずれも、オペレーターの介入は不要です。

ITチームにとって、データセンター環境の本当のコストを見積もるのは意外にも難しいものです。プライベートクラウドにコストガバナンス性能が組み合わさることで、正確な総所有コスト (TCO) モデルが手に入り、リソース消費の監視、予算の作成・追跡、およびアカウントビリティ増大を目的としたチャージバックまたはショーバックの実装が可能となります。Nutanixプライベートクラウドソリューションは、消費パターンに対する深い可視性を提供し、プライベートおよびパブリッククラウド展開に跨るコスト節約の機会を提示できます。

NUTANIXTM
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp | @NutanixJapan

©2020 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に掲載されたあらゆる製品およびサービス名は、米国およびその他の国においてNutanix, Inc.の登録商標または商標となります。本文書に記載された、その他のブランド名は全て、識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標となります。